

学校前にも「湯屋守様」

阿智第三小 昼神学習の5年生作成

阿智第三小学校5年生7人は、昼神温泉の冬のイベント「昼神の御湯」で各旅館に飾られる「湯屋守様」を作成した。昼神温泉恩出橋で開いた「降神祭」で他の湯屋守様とともににおはらいを受けた後、3月2日のお焚き上げまで、学校昇降口前に飾る。

7人は昨年から、ふるさと学習で昼神温泉について学んで

きた。昨年は学習成果をまとめたペースプサート「昼神温泉物語」を作成し、学習発表会や智里東保育園などで上演。昼神の御湯の行事にも参加し、お焚き上げでは太鼓も披露した。

湯屋守様を見て「自分たちも作りた」と思い立った子どもたち。稲作体験で出るわらを活用して作ることにした。

土台は昼神の御湯実行委員会で作ってもらい、稲わらで周囲を覆いおやすやしめ縄などで目鼻や角などを飾り付けた。デザインは小倉健男君(11)と城岸友楽さん(同)の2人が考え、作り方は玉井桜輔君(同)の祖父の玉井古友さんから教わった。

毎年おやす作りを体験してるだけあって、鼻のおやすは立派な出来栄え。目や口などに使う太いしめ縄には苦労したと

いう。

悪いものを威嚇するよう恐ろしい形相をしているが、阿智村が恋人の聖地となっていることから上部の角はハート形にした。井上海音君(10)は「初めてだったけどうまくできた。皆で大事にしていきたい」と話した。



阿智第三小学校に湯屋守様